

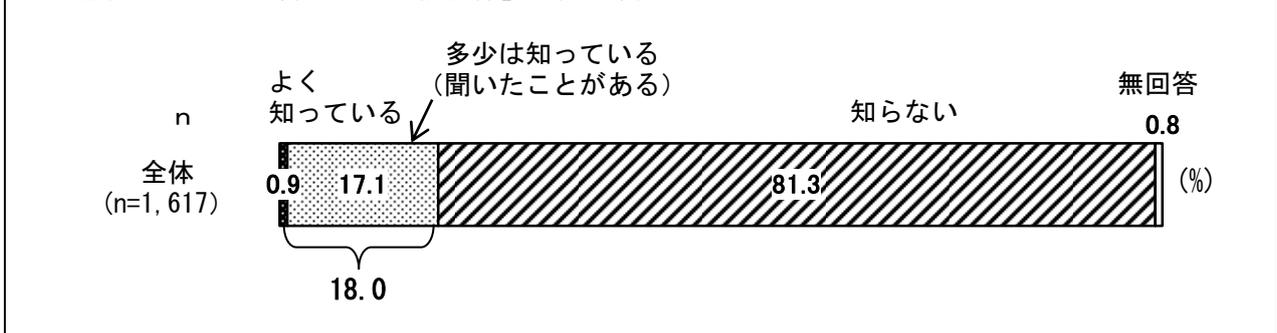
2 健康と福祉について

(1) 「新たな地域福祉像」の認知度

◇『知っている』は約2割。「知らない」が8割を超える

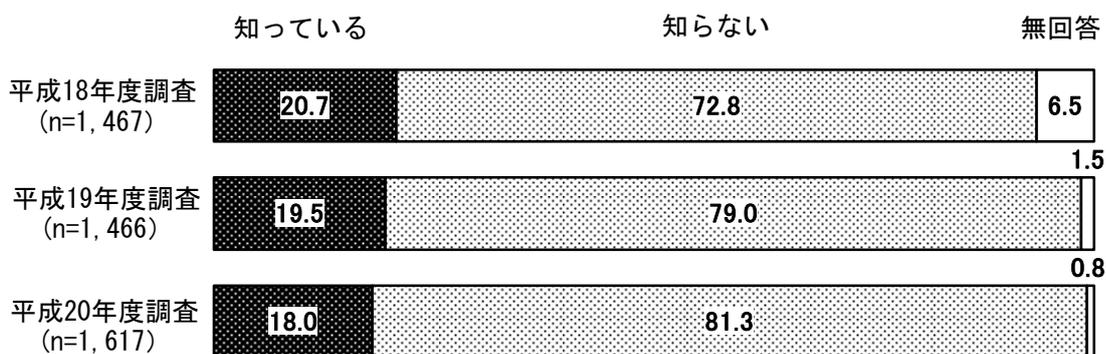
問9 あなたは、平成16年3月に県が策定・公表した「千葉県地域福祉支援計画」で示された「新たな地域福祉像」（誰もが、ありのままに、その人らしく、地域で暮らすことができる）について知っていますか。（○は1つ）

<図表2-1> 「新たな地域福祉像」の認知度



「新たな地域福祉像」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(0.9%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(17.1%)を合わせた、『知っている』(18.0%)が約2割となっている。一方で、「知らない」(81.3%)は8割を超える。(図表2-1)

【参考】平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



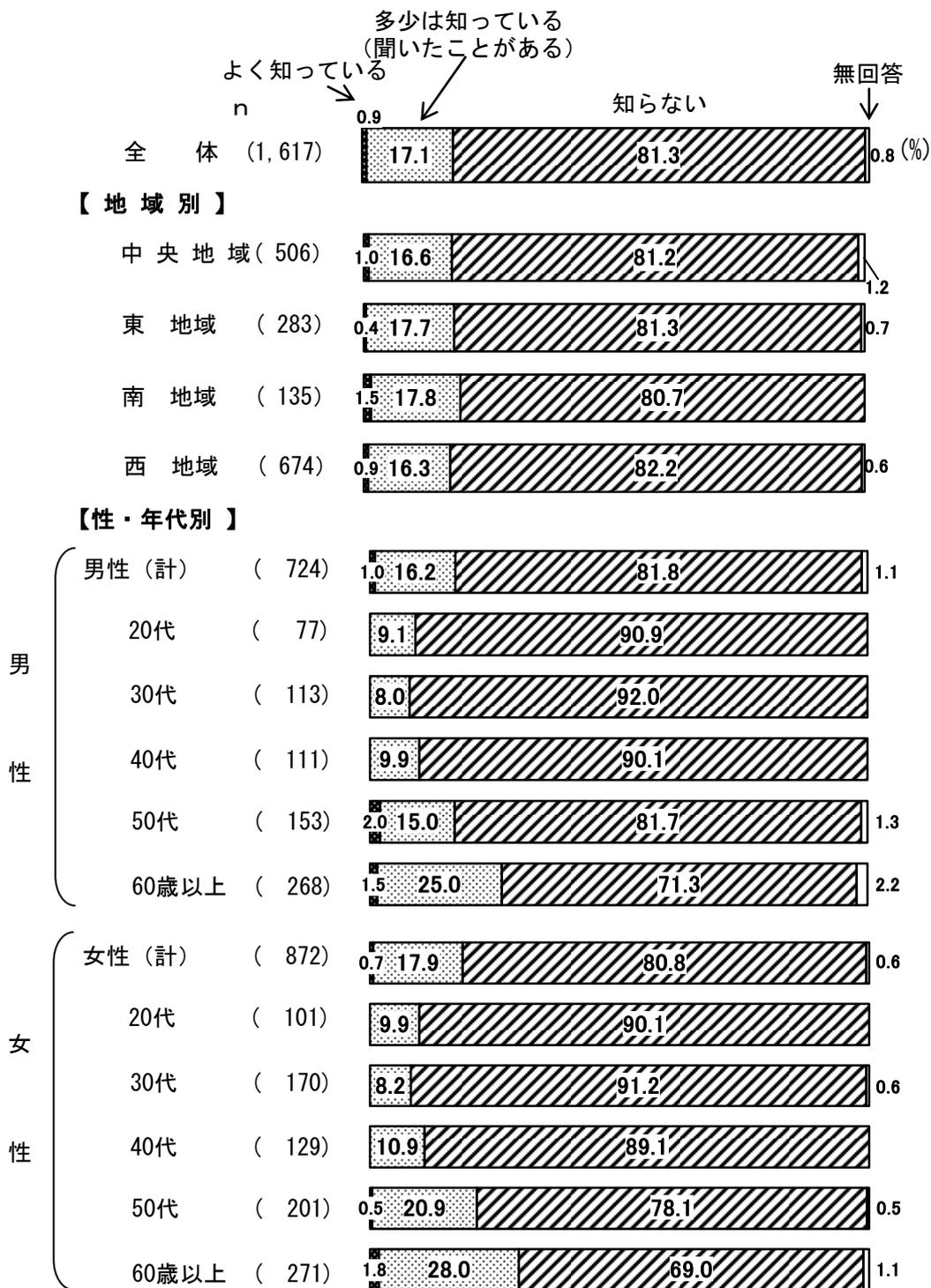
【地域別】

『知っている』、「知らない」は地域別による大きな差はみられない。(図表2-2)

【性・年代別】

『知っている』は、男女ともに年代が上がるほど認知度が高くなる傾向がみられ、男性の60歳以上(26.5%)は2割台半ばで、女性の60歳以上(29.8%)では約3割となっている。(図表2-2)

<図表 2-2> 「新たな地域福祉像」の認知度／地域別、性・年代別

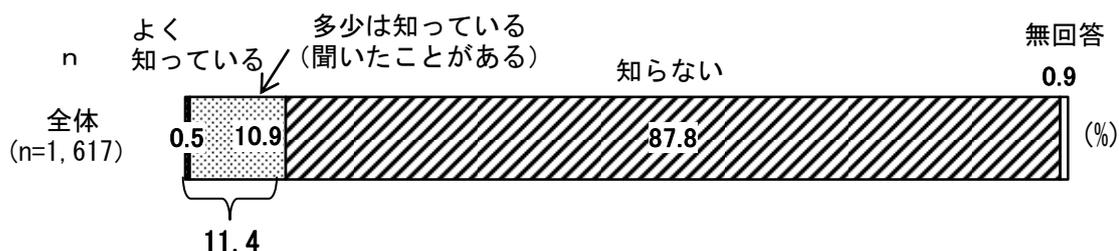


(2) 「健康福祉千葉方式」の認知度

◇『知っている』が1割を超える。「知らない」は約9割

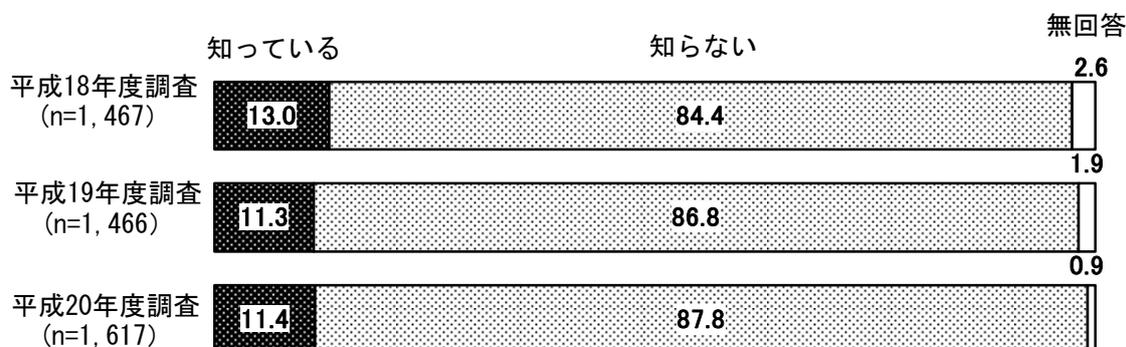
問10 あなたは、「千葉県地域福祉支援計画」など各種計画やアクションプランの策定にあたり用いられた「健康福祉千葉方式」（対象者横断的な施策展開と当事者を含めた民間と行政の協働を特徴とした健康福祉施策の推進手法）について知っていますか。（○は1つ）

<図表2-3> 「健康福祉千葉方式」の認知度



「健康福祉千葉方式」の認知度を聞いたところ、「よく知っている」(0.5%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(10.9%)を合わせた『知っている』(11.4%)は1割を超える。一方で、「知らない」(87.8%)は約9割である。(図表2-3)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



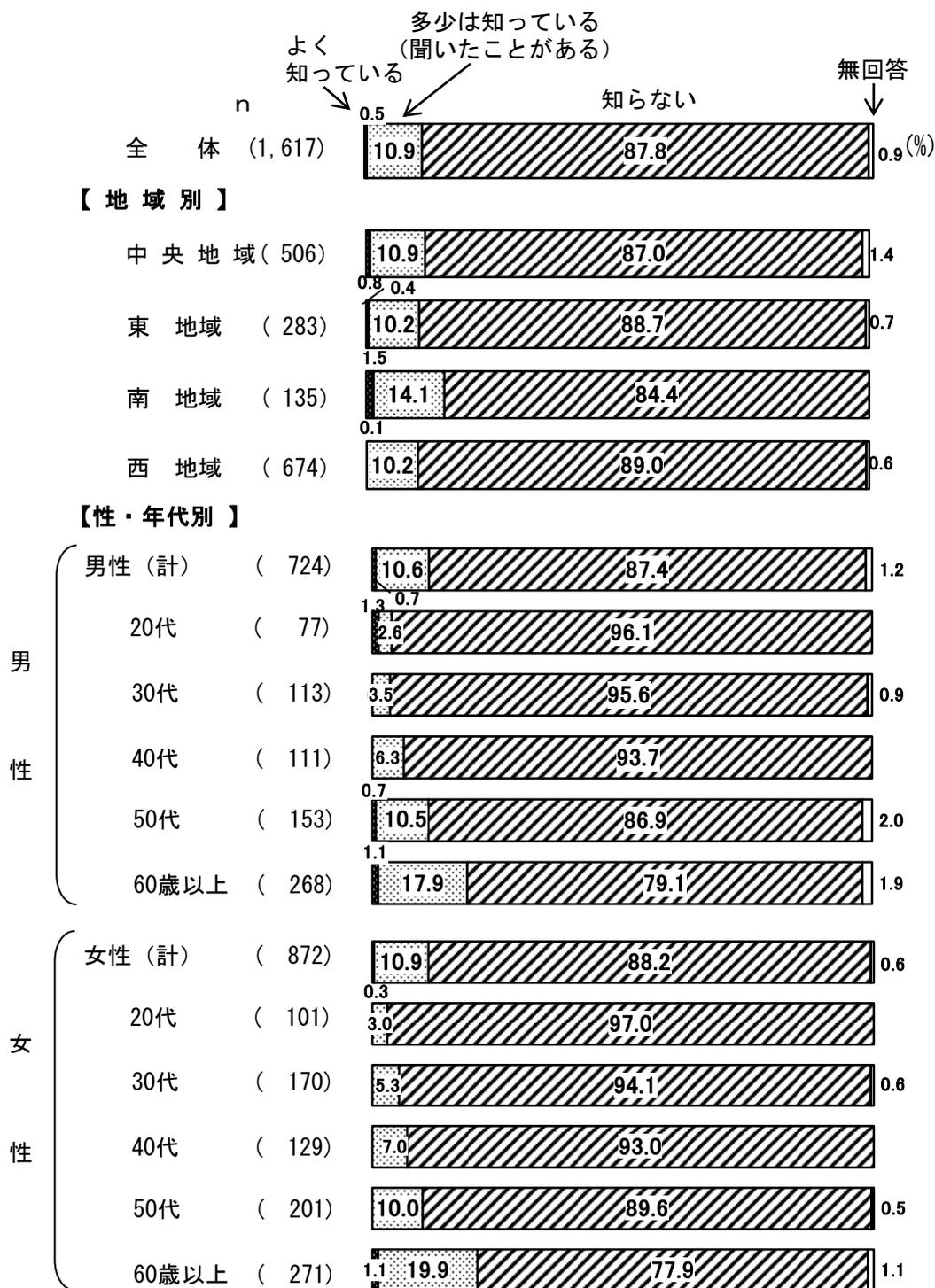
【地域別】

『知っている』は、「南地域」(14.2%)で1割台半ばになっている。(図表2-4)

【性・年代別】

『知っている』は、男女ともに年代が上がるほど多くなる傾向がみられる。(図表2-4)

<図表2-4> 「健康福祉千葉方式」の認知度／地域別、性・年代別



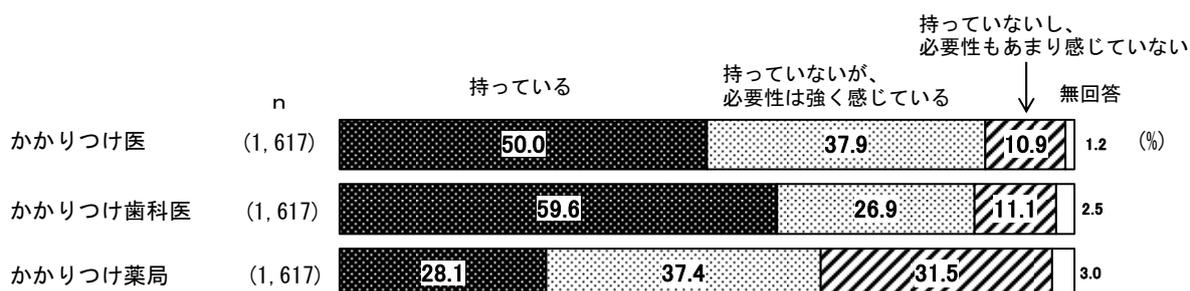
(3) かかりつけ医の有無

◇5割がかかりつけ医を、約6割がかかりつけ歯科医を持っている

問11 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要などときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表2-5＞かかりつけ医の有無

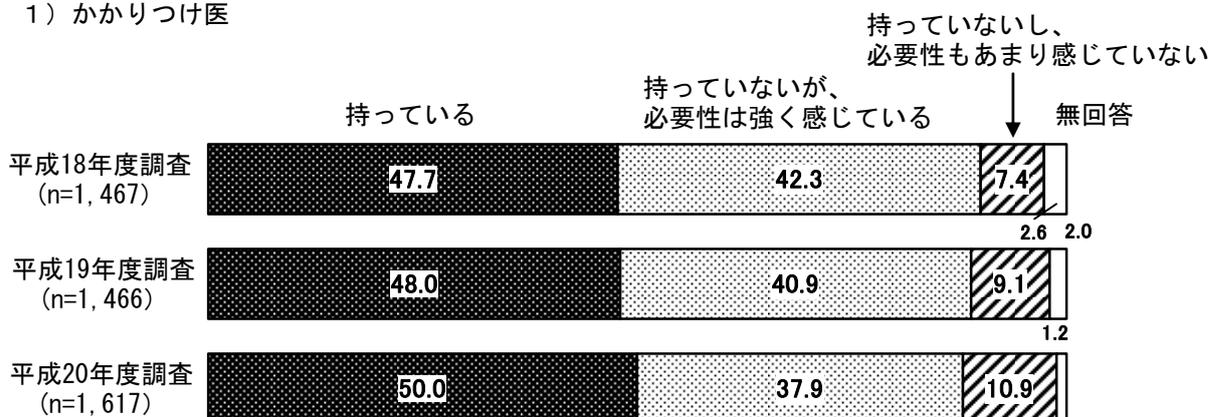


かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は、歯科医（59.6%）で約6割、医師（50.0%）で5割だが、薬局（28.1%）では約3割である。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は、医師（37.9%）と薬局（37.4%）で約4割となっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は、薬局（31.5%）で3割を超えている。

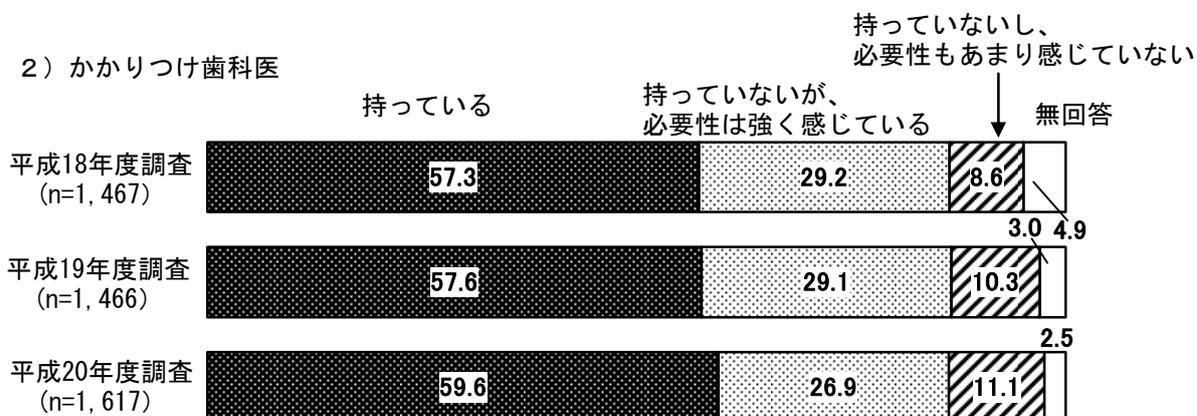
（図表2-5）

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

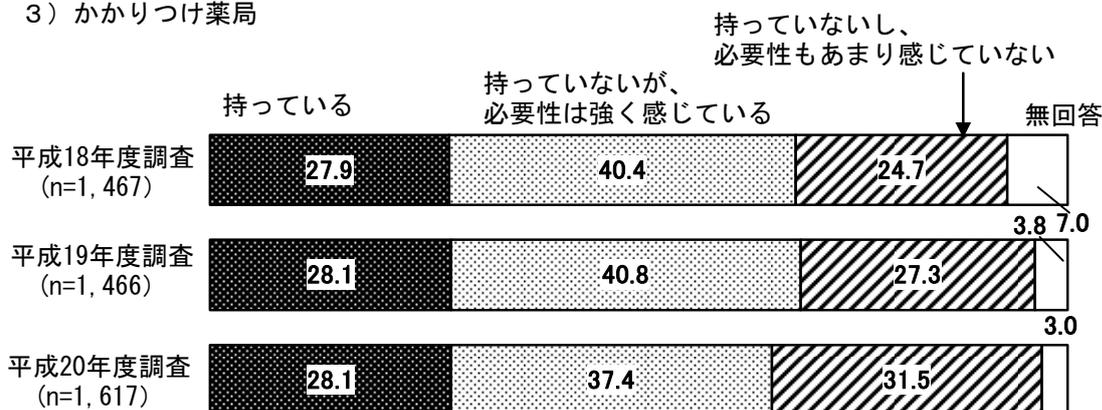
1) かかりつけ医



2) かかりつけ歯科医



3) かかりつけ薬局



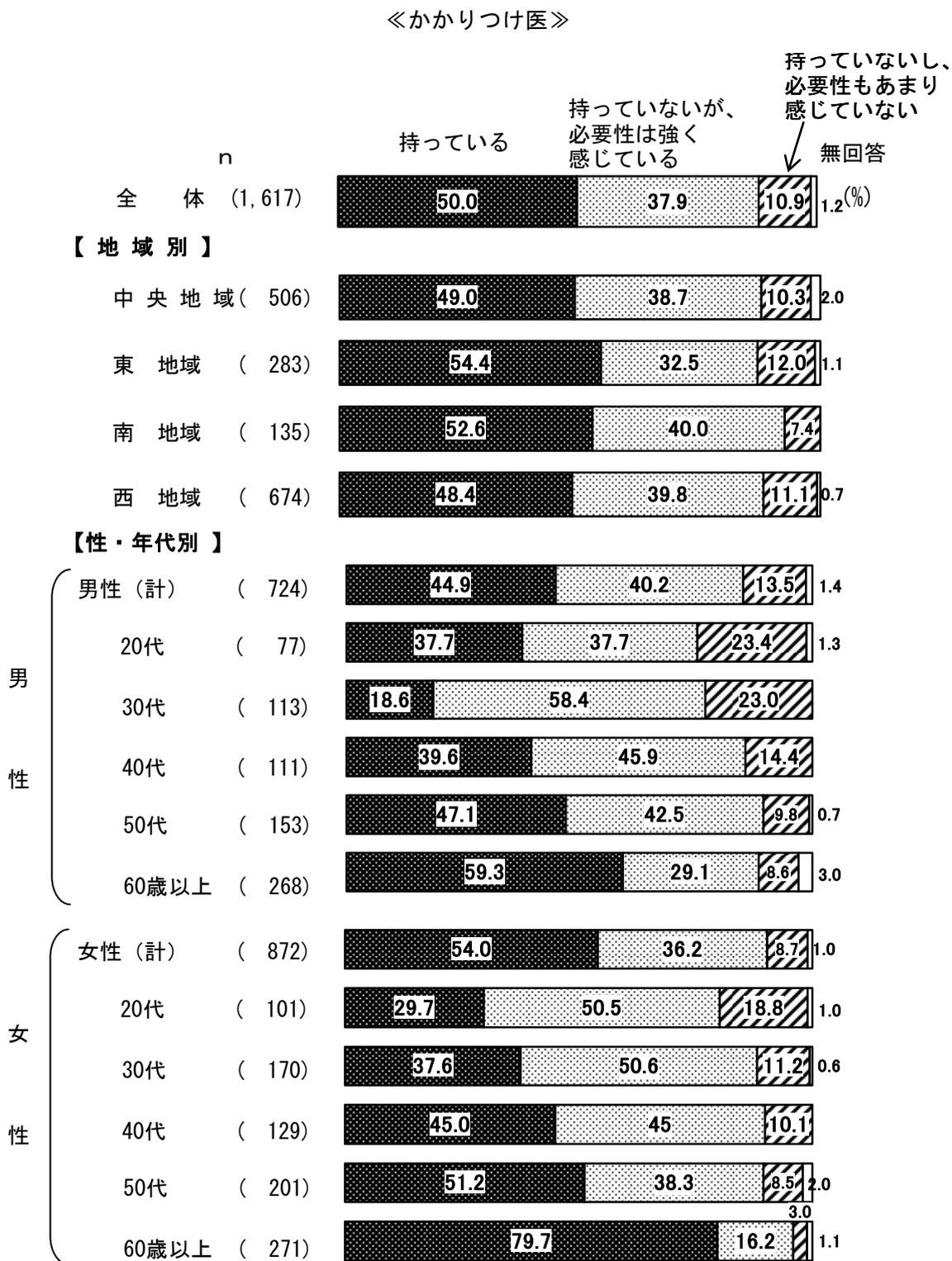
【地域別】

かかりつけ医、かかりつけ歯科医を「持っている」は、“東地域”（54.4％、62.2％）で他に比べ高い。かかりつけ薬局を「持っている」は“南地域”（30.4％）で3割を超えている。（図表2－6）

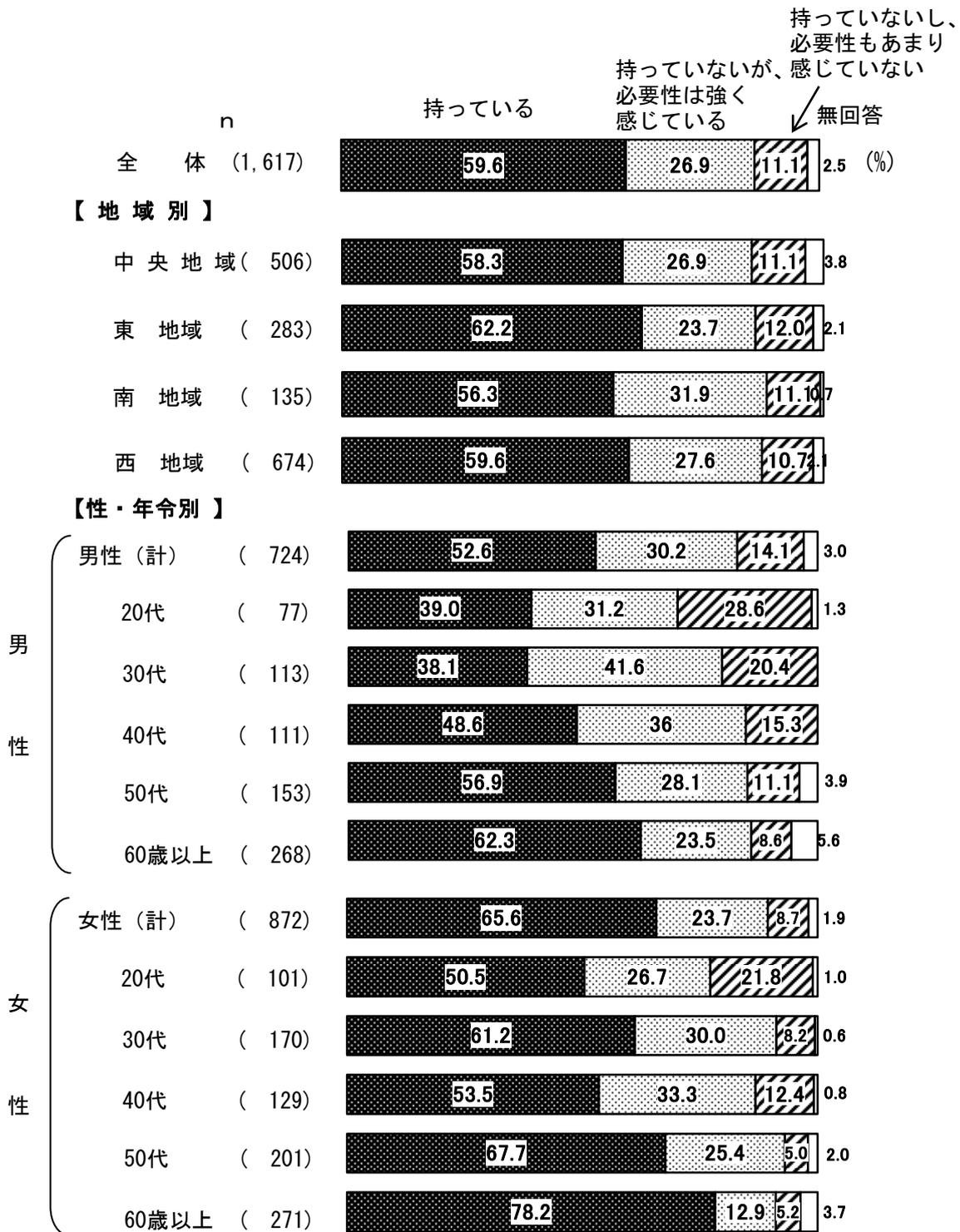
【性・年代別】

かかりつけ医、かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の60歳以上が約8割と他の年代と比べて高い。かかりつけ薬局を「持っている」は女性の60歳以上（47.6％）が約5割と高い。（図表2－6）

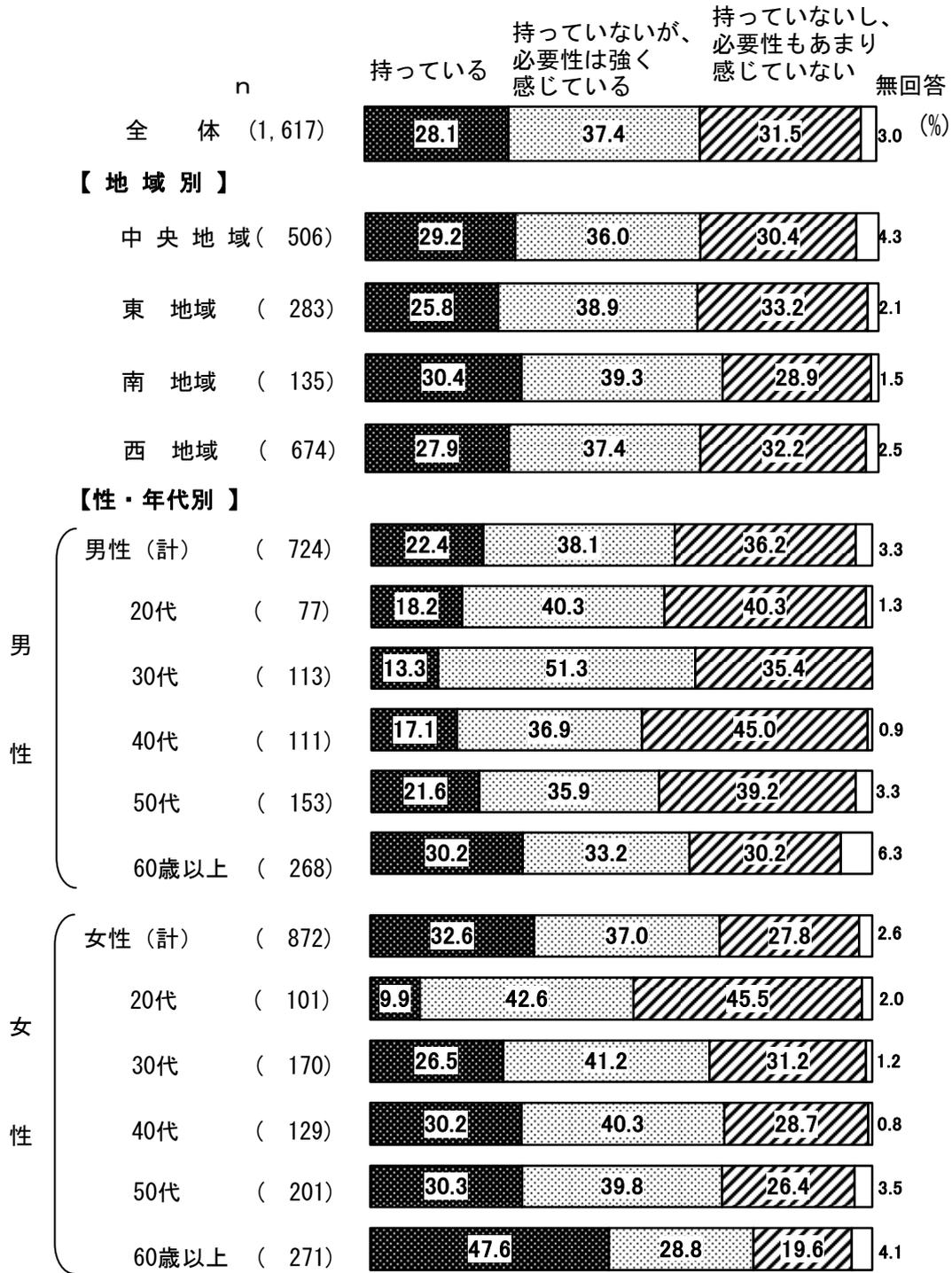
<図表 2-6> かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



《かかりつけ歯科医》



《かかりつけ薬局》



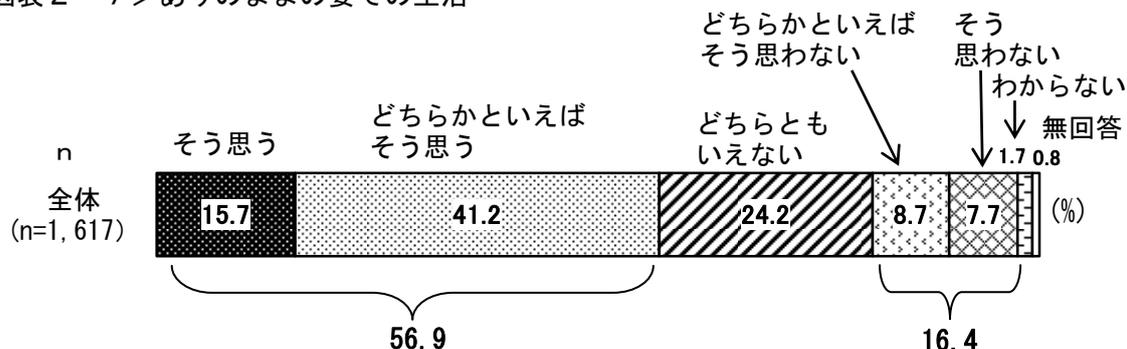
(4) ありのままの姿での生活

◇『そう思う』が5割台半ば

問12 あなたは、自分らしく、地域において明るく楽しく生活していると思いますか。

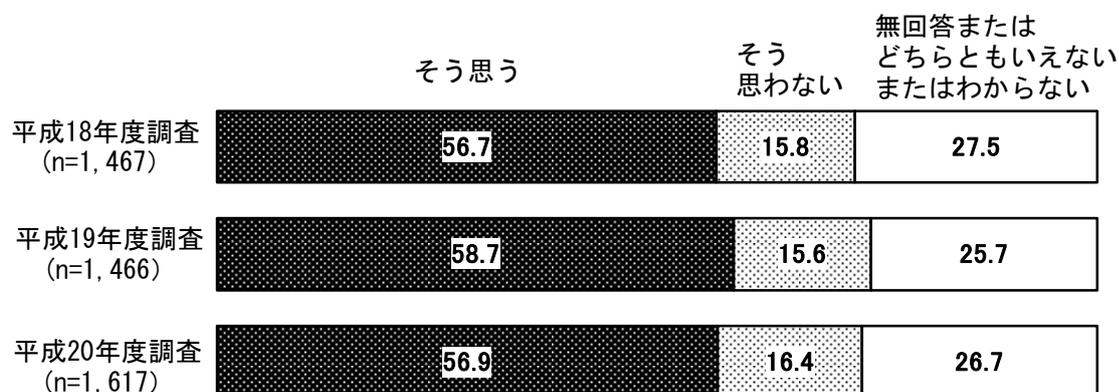
(○は1つ)

＜図表2-7＞ありのままの姿での生活



自身がありのままの姿で生活していると思うか聞いたところ、「そう思う」(15.7%)と「どちらかといえばそう思う」(41.2%)を合わせた『そう思う』(56.9%)が5割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.7%)と「そう思わない」(7.7%)を合わせた『そう思わない』(16.4%)は1割台半ばとなっている。(図表2-7)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



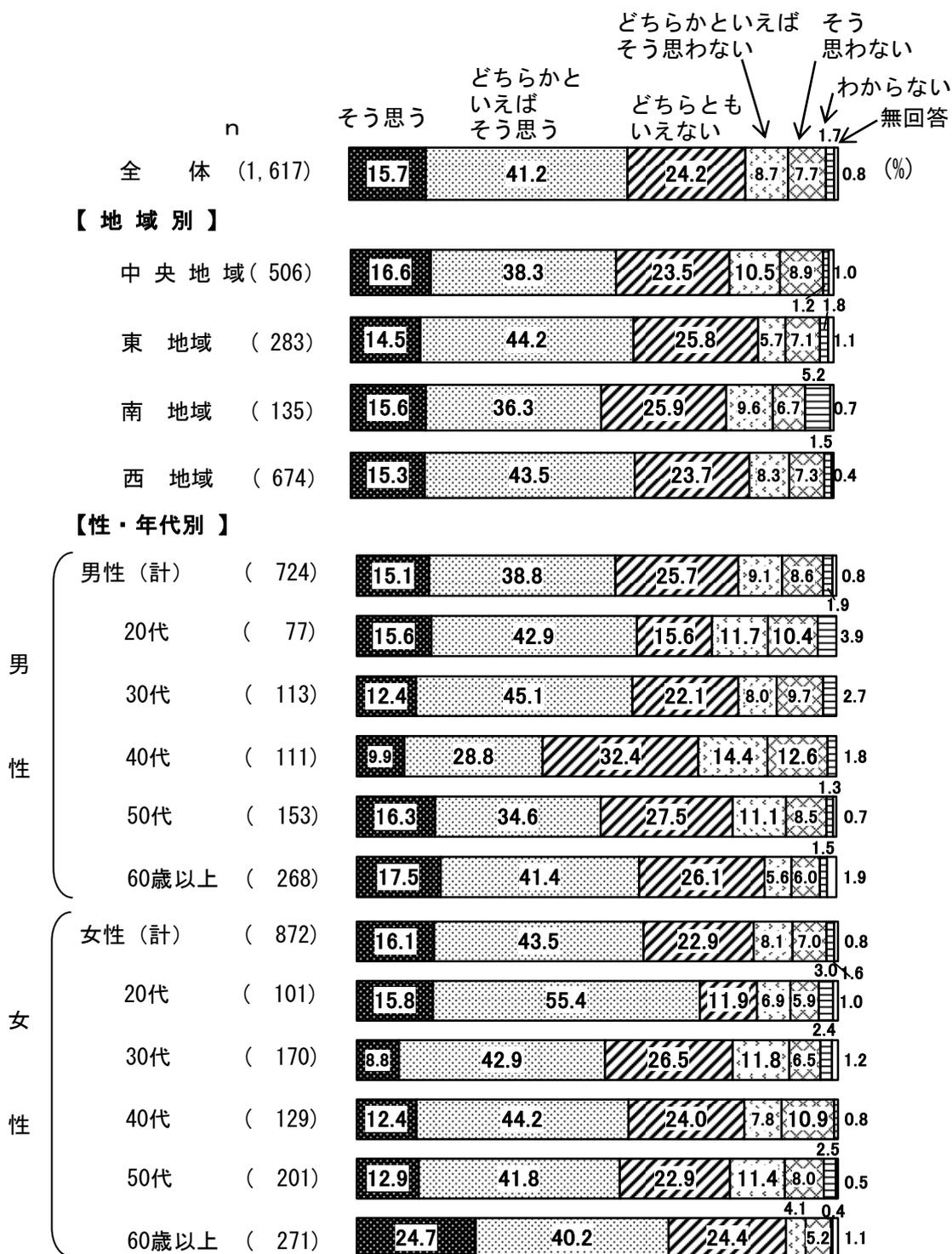
【地域別】

『そう思う』は“東地域”(58.7%)、“西地域”(58.8%)が約6割で、他の地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

【性・年代別】

『そう思う』は女性の20代(71.2%)で、高くなっている。また、『そう思わない』は男性の40代(27.0%)で、約3割となっており他の年代に比べて高い。(図表2-8)

<図表 2-8>ありのままの姿での生活／地域別、性・年代別

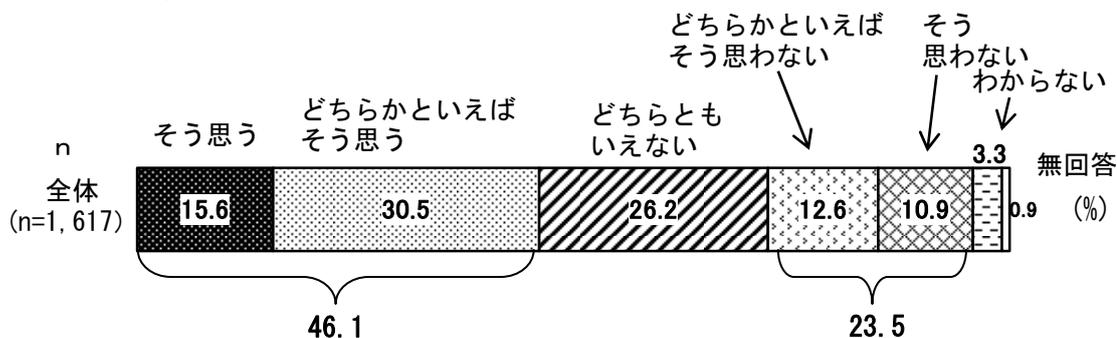


(5) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が4割台半ば

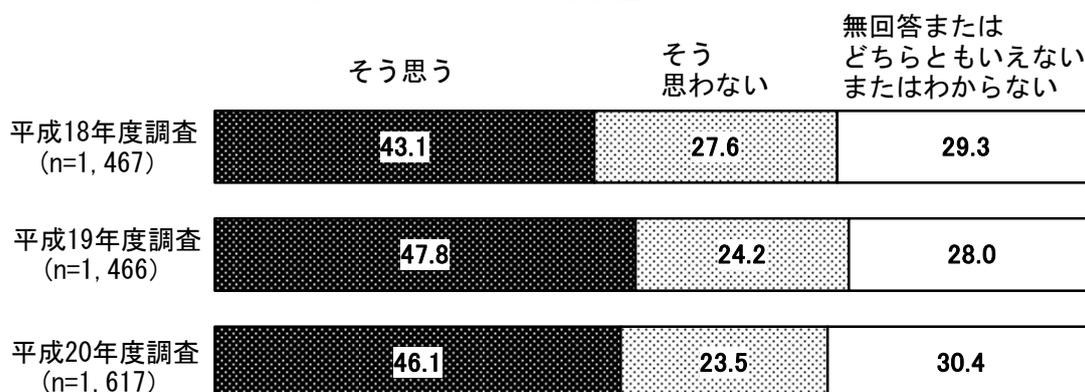
問13 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表2-9>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(15.6%)と「どちらかといえばそう思う」(30.5%)を合わせた『そう思う』(46.1%)は4割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.6%)と「そう思わない」(10.9%)を合わせた『そう思わない』(23.5%)は2割台半ばである。(図表2-9)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

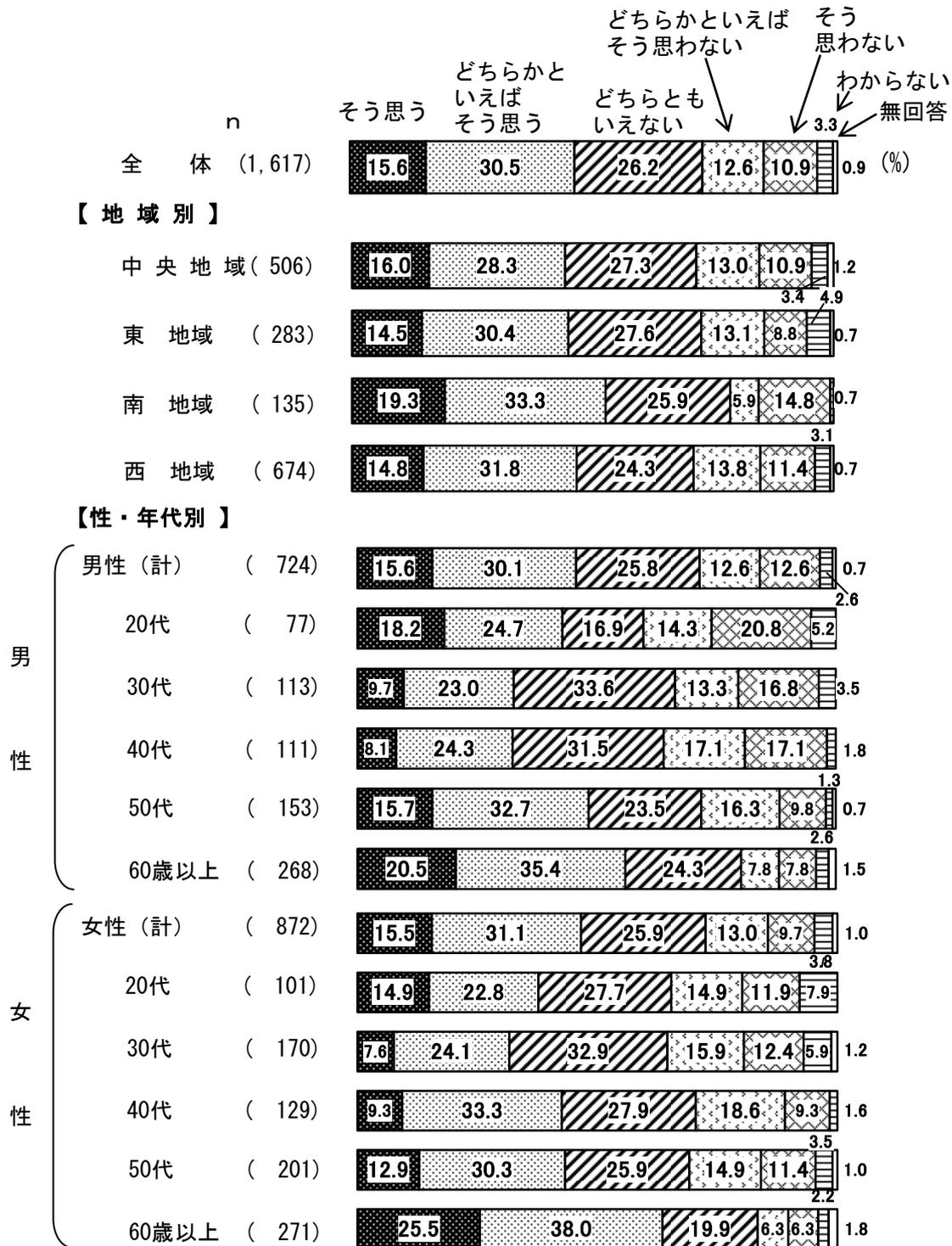
『そう思う』は“南地域”(52.6%)で5割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。

(図表2-10)

【性・年代別】

『そう思う』は、男性の60歳以上(55.9%)が5割台半ば、女性の60歳以上(63.5%)で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている(図表2-10)

<図表2-10>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

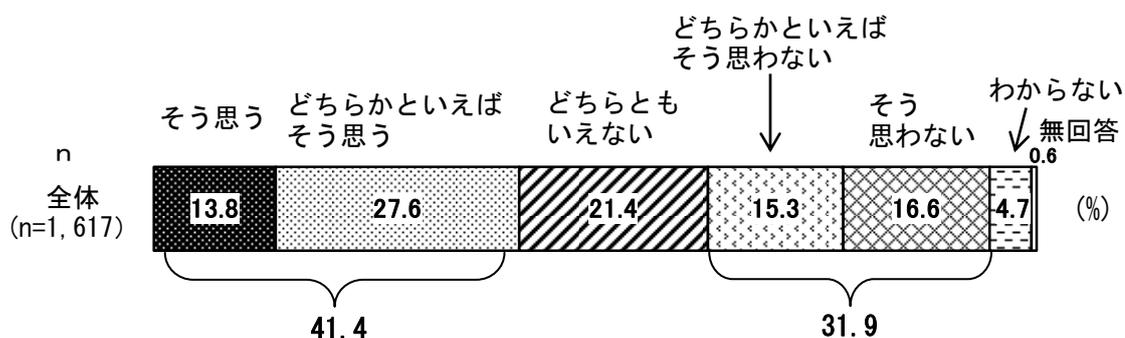


(6) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は約4割を超える

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-11>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う (13.8%) と「どちらかといえばそう思う」(27.6%) を合わせた『そう思う』(41.4%) は4割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.3%) と「そう思わない」(16.6%) を合わせた『そう思わない』(31.9%) も3割を超えている。

(図表2-11)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)

	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成18年度調査 (n=1,467)	38.9	33.3	27.8
平成19年度調査 (n=1,466)	41.4	32.0	26.6
平成20年度調査 (n=1,617)	41.4	31.9	26.7

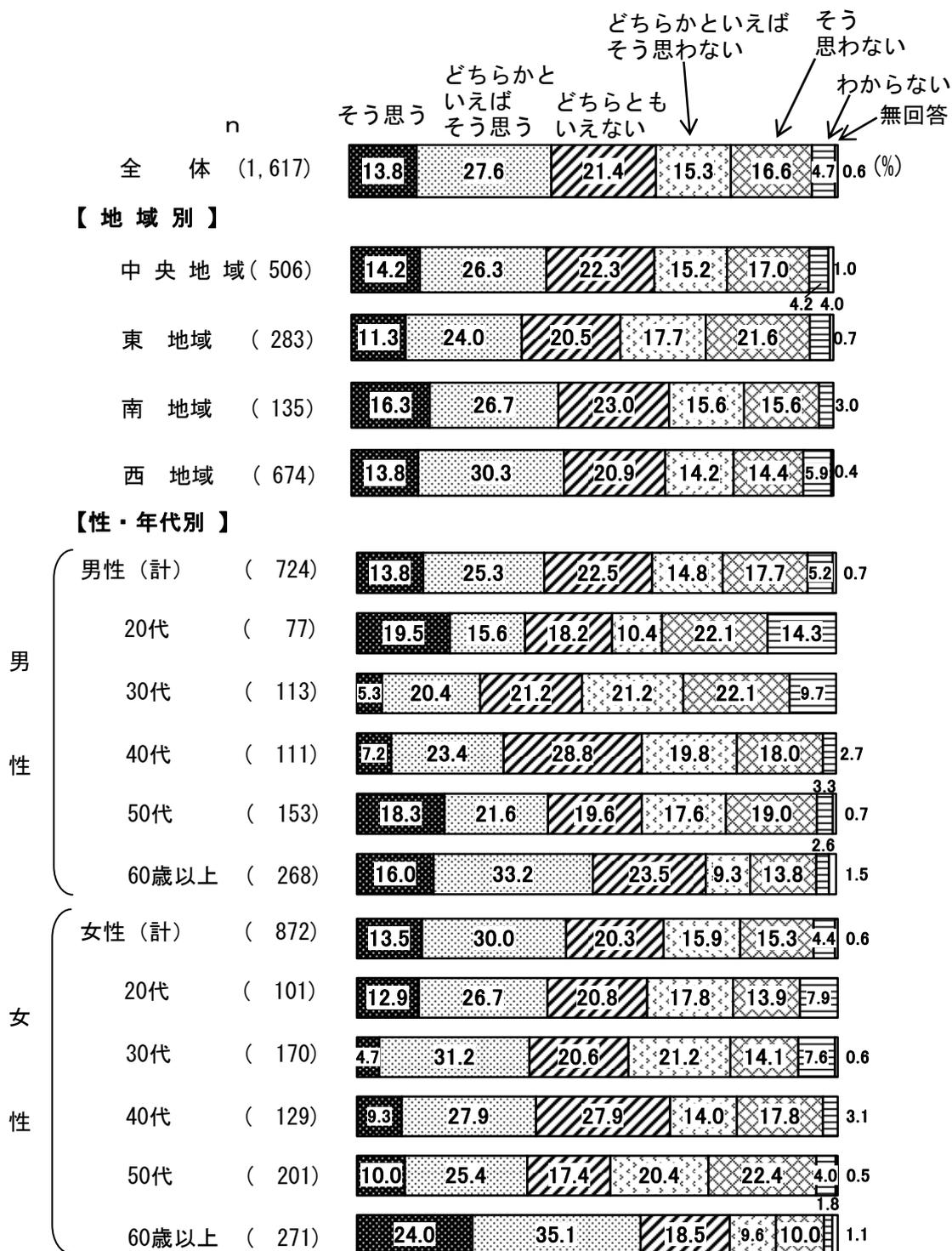
【地域別】

『そう思う』は、他の地域に比べ“東地域”(35.3%)が唯一3割台になっている。(図表2-12)

【性・年代別】

『そう思う』は、男女とも60歳以上で高く、また、男性では30代(25.7%)、女性では50代(35.4%)で落ち込んでいる。(図表2-12)

<図表2-12>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別

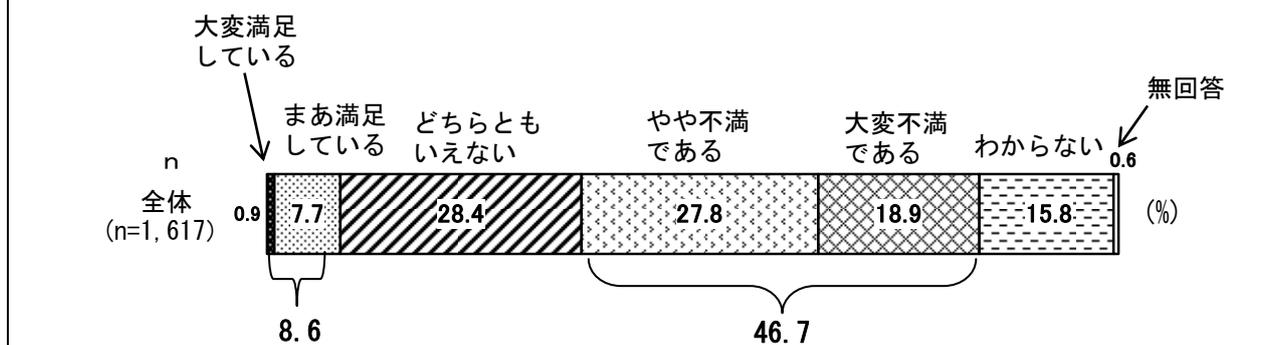


(7) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度

◇『不満である』が4割台半ば

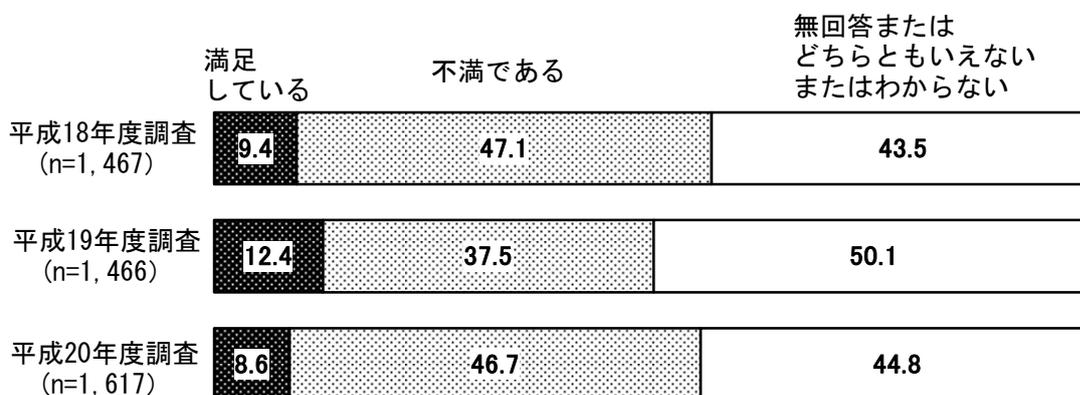
問15 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について満足していますか。
(○は1つ)

<図表2-13> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(0.9%)と「まあ満足している」(7.7%)を合わせた『満足している』(8.6%)が約1割。一方、「やや不満である」(27.8%)が約3割で、「大変不満である」(18.9%)が約2割で、これらを合わせた『不満である』(46.7%)は4割台半ばとなっている。(図表2-13)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



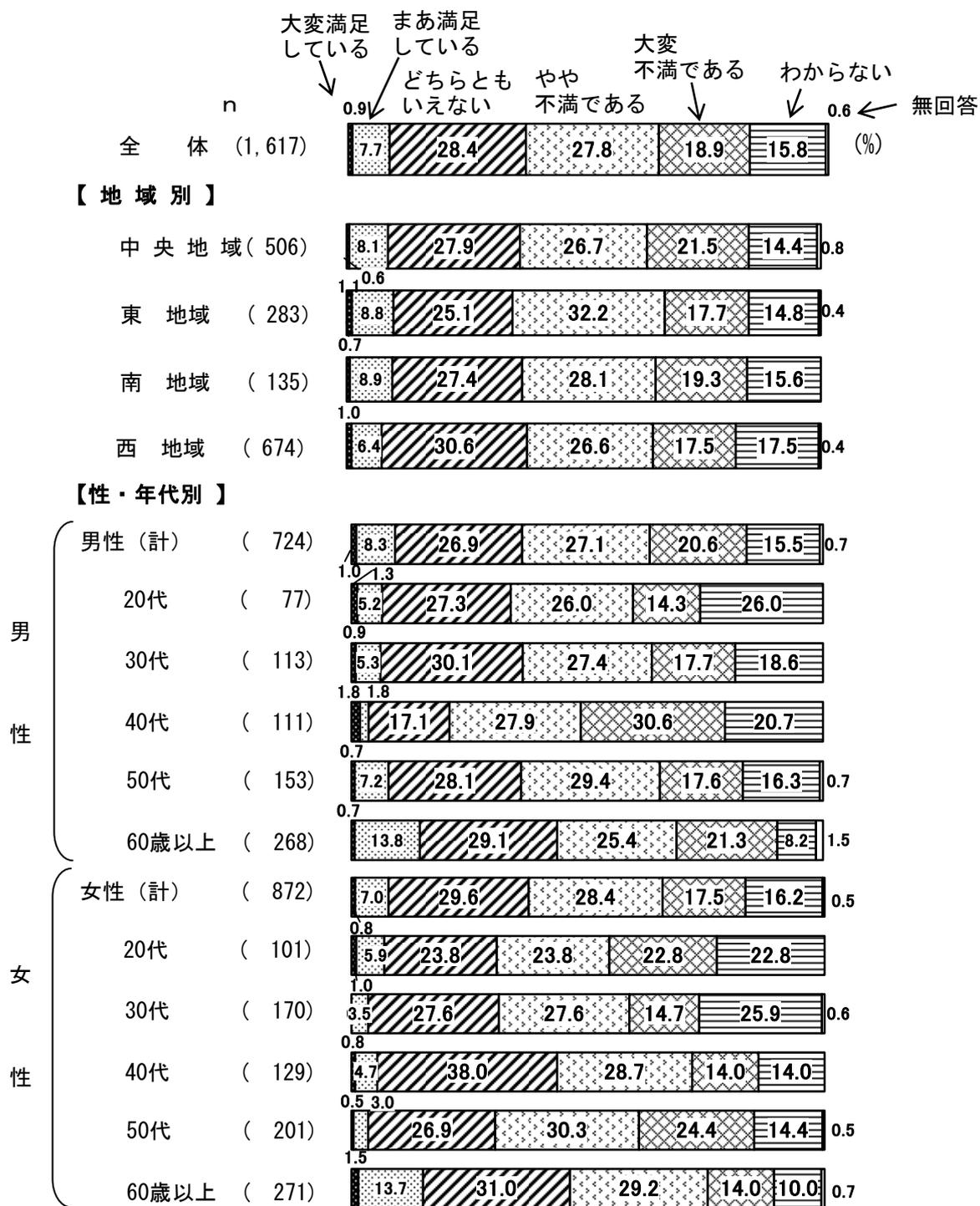
【地域別】

『満足している』はどの地域でも1割を下回っている。(図表2-14)

【性・年代別】

『満足している』は男性の60歳以上(14.5%)、女性の60歳以上(15.2%)で1割台半ばである。一方、『不満である』は、男性の40代(58.5%)、女性の50代(54.7%)で5割台半ば以上となっている。(図表2-14)

<図表2-14>お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についての満足度/地域別、性・年代別

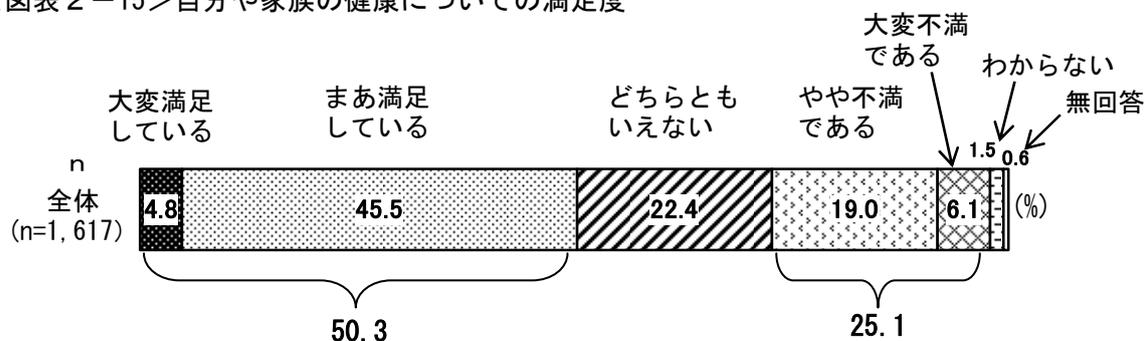


(8) 自分や家族の健康についての満足度

◇『満足している』が5割

問16 あなたは、自分や家族の健康について満足していますか。(〇は1つ)

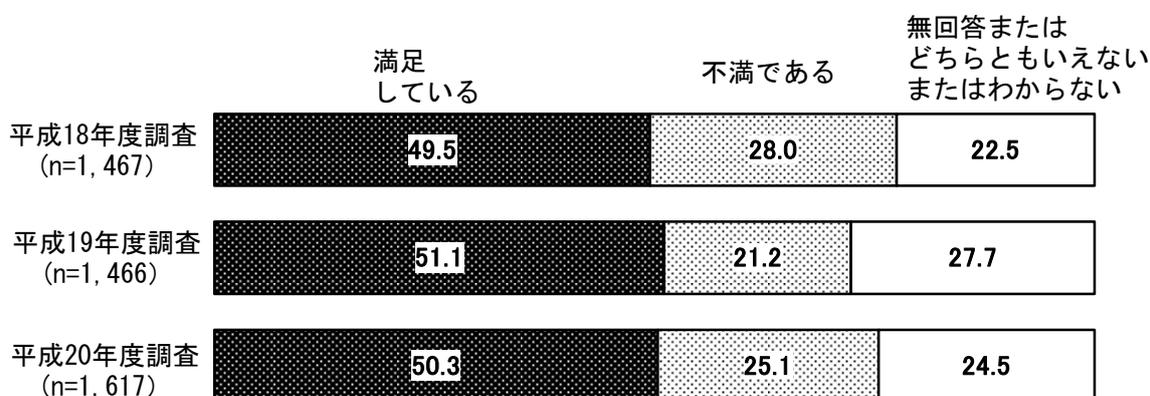
<図表2-15> 自分や家族の健康についての満足度



自分や家族の健康についての満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.8%)と「まあ満足している」(45.5%)を合わせた『満足している』(50.3%)が5割である。一方、「やや不満である」(19.0%)と「大変不満である」(6.1%)を合わせた『不満である』(25.1%)は2割台半ばである。

(図表2-15)

〔参考〕平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



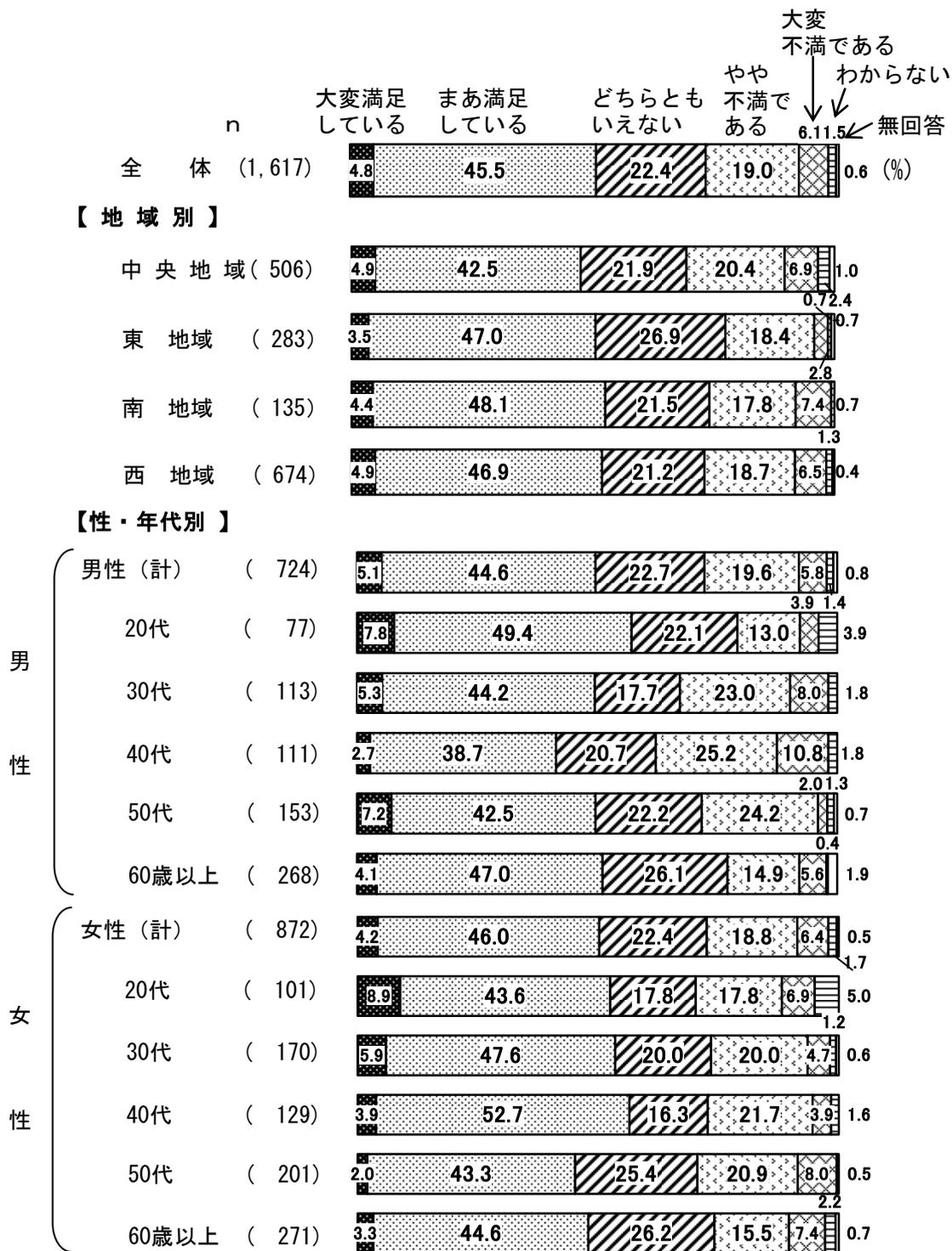
【地域別】

『満足している』は、他の地域に比べ“中央地域”(47.5%)が唯一5割を下回っている。(図表2-16)

【性・年代別】

『満足している』は、男性20代(57.1%)が約6割と他の年代に比べて高くなっている。(図表2-16)

<図表 2-16> 自分や家族の健康についての満足度／地域別、性・年代別

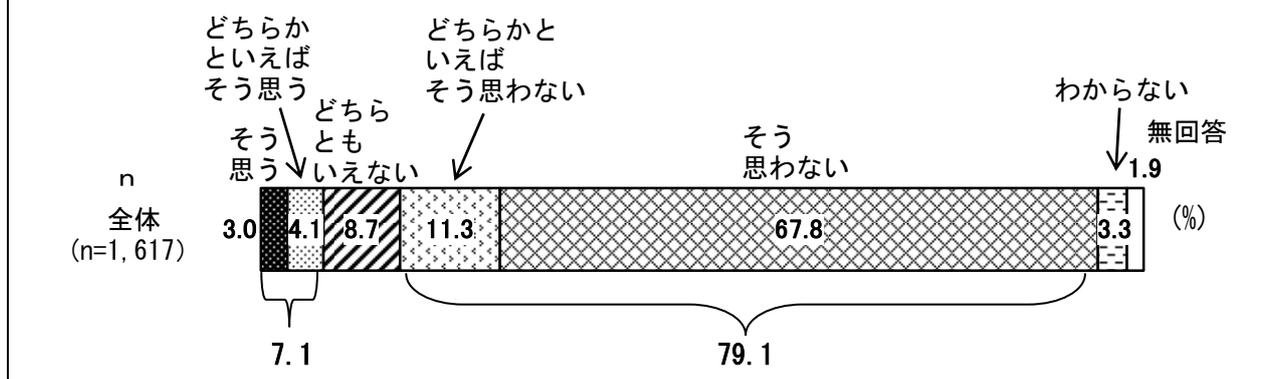


(9) 理不尽な理由による差別等

◇『そう思う』は約1割

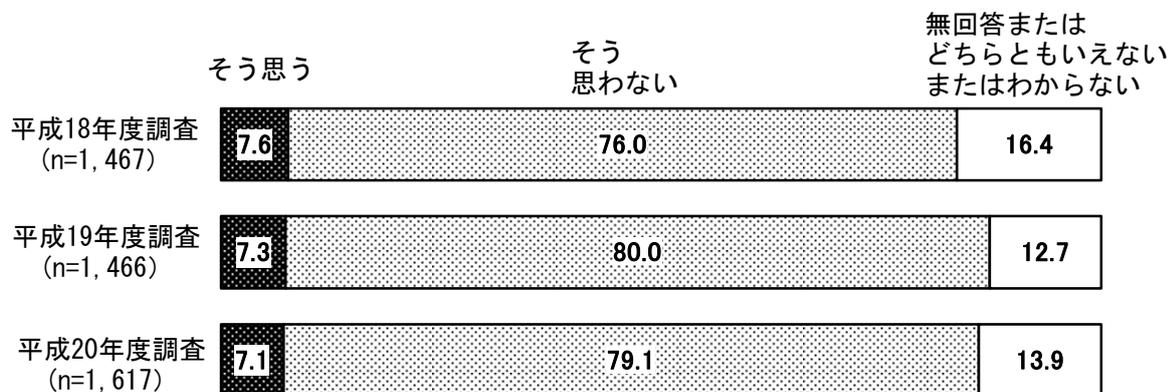
問17 あなたは、自分が日常生活の中で、理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思いますか。(○は1つ)

<図表2-17>理不尽な理由による差別等



自分が理不尽な理由によって差別等の辛い目に遭っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.0%)と「どちらかといえばそう思う」(4.1%)を合わせた『そう思う』(7.1%)は約1割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.3%)と、最も多い「そう思わない」(67.8%)を合わせた『そう思わない』(79.1%)が約8割となっている。(図表2-17)

【参考】平成18年度・平成19年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



【地域別】

『そう思う』はどの地域も1割を下回っている(図表2-18)

【性・年代別】

『そう思う』に大きな差はないが、女性20代(11.8%)で1割を超えやや高くなっている。

(図表2-18)

<図表2-18> 理不尽な理由による差別等／地域別、性・年代別

